

序

ここに当研究所報第2号をお贈りすることのできたのを、よろこびに
思います。

当研究所の性格上、ここに記載する論文はそれ自身高い学問的水準の
ものとは考えませんが、大部分は日常われわれが現場で、または設計室
でぶつかる問題をとりあげていますので、すくなくともそのような意味
ではお役に立ちうるものと信じています。

同好の諸先生方が、本所報を御覧になって、われわれの問題の取扱い
方、核心への突込み方等について種々御助言いただければ、所長として
幸福これにすぎるものはないと考えます。

皆様のあたたかい御援助を伏してお願いする次第です。

1963年3月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫